

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会
平成 27 年度 第 2 回理事会議事録

日 時 平成 27 年 3 月 8 日 (日) 13:00~13:45
会 場 京都アスニー 3F 会議室
出 席 者 [現在数 10 名、定足数 6 名、出席者 6 名]
理事長 荒巻禎一
理事 羽生田寂裕、八木 茂、新木直人 大西孝雄、篠田恒夫
監事 柳澤 傳 事務局長 奥村建治、
欠 席 者 理事 吉田忠嗣、北尾哲郎、川西通夫、中村三之助
議 案 第 1 号議案 平成 27 年度 事業計画の承認の件
第 2 号議案 平成 27 年度 収支予算の承認の件
報 告 事 項 京都連盟 100 周年記念事業、第 23 回世界ジャンボリー

開 会 宣 言 奥村事務局長より開会宣言。
先月 22 日に高山前理事長が逝去されたので、哀悼の意を表し、黙祷を捧げる。

挨 拶 荒巻禎一理事長よりご挨拶

- ◇ 昨今の社会経済情勢について少し所感を述べてられ、青少年の健全育成面で B S 活動が下支えできる状況を期待したいと述べられた。
- ◇ 京都のボーイスカウトは、本年 1 0 0 周年を迎える。大正 4 年の大正天皇即位の礼に合わせて、京都市内の各小学校校長が学童 1 ~ 2 名ずつ推薦し、第一期生は 1 0 1 の団員で、「京都少年義勇軍」として称して、大正 4 年 11 月 1 日に平安神宮で結団式が行われた。このことは青少年の育成面で、全国でも先駆け的な出来事である。
- ◇ また、第 2 3 回世界ジャンボリーが、山口県で世界 1 6 2 の国と地域から約 3 万人の青少年が集まって、7 月 2 8 日から約 2 週間に亘って開催され、京都からは約 1 4 0 名が参加する予定である。そして、世界ジャンボリー参加者のうち、イギリスから 8 0 名、イタリアからは 3 2 0 名、総勢 4 0 0 名が京都でのホームステイを希望されている。
- ◇ 1 0 0 年の歴史と伝統を引き継ぎ、外国スカウトとの国際交流を積極的に活用し、スカウト数の減少等の恵まれない状況下、時代の趨勢に合ったスカウト活動を模索して、地域社会の教育力として再認知される千載一遇の機会である。
- ◇ 本日の主要な議案は、平成 2 7 年度本会の事業計画案及び予算計画案の審議です。それでは、定足数等の確認を行い、篠田 B S 京都連盟理事長から来年度の事業方針等を報告頂き、その後、審議に移りたいと思います。

【議事手続】

- ・ 理事会定足数 6 名に対して、出席 6 名により理事会成立。
- ・ 議長については、定款の定め通り、荒巻禎一理事長
- ・ 議事録署名人は、定款の定め通り 荒巻禎一理事長、柳澤 傳監事
- ・ 議長は議事録作成者を次の通り任命した。 八木 茂常務理事

【第 1 号議案】 平成 27 年度 事業計画の承認の件

【第 2 号議案】 平成 27 年度 収支予算の承認の件

◇議長は第 1 号議案「平成 27 年度事業計画の承認の件」と第 2 号議案「平成 27 年度収支予算承認の件」は、一括審議したいと出席役員一同に意見を諮ったところ、出席役員全員一致で承認された。

◇八木常務理事より、同議案につき、別紙事業計画書・収支予算書に基づき内容説明及び諮問がなされた。

本年度、京都連盟が 100 周年を迎え、世界ジャンボリーも山口県で開催され、京都に外国スカウトがホームステイに入浴します。この機会を活用し、地域社会の方々に、青少年の健全な育成に繋がるボーイスカウト活動を再認識して頂くため、広報活動を強力に推進したい。京都府民・市民の皆様幅広く告知するために、2013年から2015年の記念事業の総括を行い、その内容等を京都新聞に一面広告・ホームページ掲載という手段で行いたい。

(1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業に関して

事業予算として 2,800 千円を見込んでおります。この事業費のうち 1,000 千円は 100 周年記念事業、500 千円は世界ジャンボリーのための助成であり、1,300 千円は、例年執行しています日本ボーイスカウト京都連盟の 27 年度事業費予算のうち、進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッショナー費、イベント費等に必要となる事業費に対して助成するものです。

前年度に、一昨年世界財団の入浴の際、そのお世話役を果たしてくれたローバースカウトユースネットワーク（略称 KYN）に対して助成金を予算化しておりましたが、現在のところ予算を執行しておりません。そのため本年は予算化しておりませんが、この組織は、ローバースカウトが団・地区の垣根を越えた活動として、自発的に発足させた組織であり、そのスカウト同志がお互いに切磋琢磨することにより、生まれた熱意や経験は、所属団に還元できると考えられます。

また、地域社会において、ボーイスカウトがそのコミュニティーに存在意義を認知してもらうためには、活力ある青年ローバースカウトが社会参加することから始まると考えています。何故ならば、「少子高齢化が加速的に進む中、持続可能な地域社会の構築に向け、行政頼りでは限界があり、地域の住民や企業が絆を深める必要があると思います。その中でボーイスカウトのボランティア活動が社会の活力を生み出す“自助共助”の仕組みの構築のひと役を担って欲しい」ということを切望しています。従いまして活動が再開された場合は、助成金を考えたいと思います。

(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業について、
本振興会が所有する広河原野営場の維持管理費用として181千円予算化しています。
また、広河原野営場近隣における舎営施設土地建物の取得または賃借を予定している件に
関して、所有者との交渉を継続することと、購入または賃借条件等については、常務理事
に一任して頂くように承諾を得る。

(3) 青少年指導者養成のためのプログラム企画運営事業について

本日、京都連盟の協力を得て開催する京都スカウト活動報告会を定例化するとともに、
地域の有識者の方を講師として招聘し、講演会等を予定したい。講演会では、ボーイスカ
ウト関係者のみならず、一般の参加者も対象とし、青少年育成の指導者としての素養を涵
養することを目的とした内容としたい。
予算的には、100千円を予定している。

(4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動支援のための共催事業について

ボーイスカウトを対象に海外キャンプへの派遣、国際協力プロジェクトの派遣等への
支援費用等の実施を予定している。

(5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業について

- ・地域社会への京都ボーイスカウト活動の周知
- ・新規入団者の促進支援につながる広報活動
- ・振興会維持会員として支援の輪を広げる活動
- ・一般財団法人としての情報開示、コンプライアンスの確立の達成を目指す

事業予算として、1,900千円を見込んでおります。
以上で説明を終わります。ご審議の程、宜しくお願い致します。

◇議長は出席役員一同に質問及び意見を諮ったところ、出席役員全員一致で承認、可決された。

[報告事項]

BS京都連盟 篠田理事長の方から、100周年記念事業等について説明があった。

以上を以って、議事、報告事項をすべて終了し、議長は閉会を宣した。

この議事録が正確であることを証明するために、出席した議長及び議事録署名人は次のとおり記名押印する。なお、軽易な文言の修正は、議長に委任する。

平成 27 年 3 月 8 日

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会
議 長

荒 卷 禎 一 ⑩

議事録署名人

柳 澤 傳 ⑩

議事録作成者 一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会
常務理事 八木 茂